

出雲商工会議所管内 業種別景況（令和6年7月～9月期）

《全 業 種》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（令和5年7～9月）と比べた 今期（令和6年7～9月）の状況				前期（令和6年4～6月）と比べた 今期（令和6年7～9月）の状況				今期（令和6年7～9月）と比べた 来期（令和6年10～12月）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	22.4	37.9	39.7	△ 17.2	25.9	37.9	36.2	△ 10.3	41.4	43.1	15.5	25.9
2 採 算	8.8	61.4	29.8	△ 21.1	7.0	68.4	24.6	△ 17.5	17.5	68.4	14.0	3.5
3 仕 入 単 価	63.8	27.6	8.6	55.2	50.0	44.8	5.2	44.8	50.0	48.3	1.7	48.3
4 従 業 員 数					1.8	89.3	8.9	△ 7.1	5.4	89.3	5.4	0.0
5 資 金 繰 り					3.6	74.5	21.8	△ 18.2	16.4	67.3	16.4	0.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		8.9	55.4	35.7		-26.8		25.0	48.2		26.8	-1.8		1.8

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	35.0	10.0	5.0	50.0	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	3.3	5.0	11.7	20.0
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	3.3	3.3	5.0	11.7	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	1.7	1.7
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	1.7	1.7	0.0	3.3	10 事 業 資 金 の 確 保 難	0.0	10.0	1.7	11.7
4 原 材 料 高 及 び 不 足	16.7	26.7	11.7	55.0	11 需 要 の 停 滞	13.3	15.0	15.0	43.3
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	3.3	3.3
6 人 手 不 足	6.7	8.3	8.3	23.3	13 そ の 他	3.3	0.0	1.7	5.0
7 人 件 費 の 増 加	8.3	6.7	8.3	23.3	無 回 答	8.3	13.3	26.7	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

《 製 造 業 》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（令和5年7～9月）と比べた 今期（令和6年7～9月）の状況				前期（令和6年4～6月）と比べた 今期（令和6年7～9月）の状況				今期（令和6年7～9月）と比べた 来期（令和6年10～12月）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	11.1	33.3	55.6	△ 44.4	11.1	33.3	55.6	△ 44.4	66.7	33.3	0.0	66.7
2 採 算	12.5	50.0	37.5	△ 25.0	25.0	37.5	37.5	△ 12.5	37.5	50.0	12.5	25.0
3 仕 入 単 価	66.7	22.2	11.1	55.6	77.8	11.1	11.1	66.7	55.6	33.3	11.1	44.4
4 従 業 員 数					11.1	66.7	22.2	△ 11.1	22.2	66.7	11.1	11.1
5 資 金 繰 り					0.0	44.4	55.6	△ 55.6	22.2	55.6	22.2	0.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		12.5	37.5	50.0		△ 37.5		25.0	25.0		50.0	△ 25.0		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	66.7	0.0	11.1	77.8	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	0.0	22.2	22.2	44.4
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	0.0	0.0	0.0	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	11.1	0.0	11.1	10 事 業 資 金 の 確 保 難	0.0	11.1	0.0	11.1
4 原 材 料 高 及 び 不 足	0.0	33.3	22.2	55.6	11 需 要 の 停 滞	11.1	11.1	11.1	33.3
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	11.1	0.0	0.0	11.1	13 そ の 他	11.1	0.0	0.0	11.1
7 人 件 費 の 増 加	0.0	11.1	33.3	44.4	無 回 答	0.0	0.0	0.0	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック、今後の課題・方針など（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 賃金が高くなるので粗利確保のための値上げをしていく。生産性向上のため、人材育成が重要であるが苦心している。（めん類製造業）
- ・ インスタ等SNSを活用した情報発信により、会社の認知度も高まっている。インスタ→Base、インスタ→ホームページの流れから、新規のお客様からの仕事も少しずつ増えてきている。他方、ベテラン営業社員の退職に伴う組織の再構築・編成に苦慮している。（印刷業）
- ・ 必要となる資格の取得に重点を置き、社員に勧めている。（看板・標識機製造業）

《建設業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（令和5年7～9月）と比べた今期（令和6年7～9月）の状況				前期（令和6年4～6月）と比べた今期（令和6年7～9月）の状況				今期（令和6年7～9月）と比べた来期（令和6年10～12月）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	0.0	37.5	62.5	△ 62.5	12.5	50.0	37.5	△ 25.0	50.0	25.0	25.0	25.0
2 採算	0.0	62.5	37.5	△ 37.5	0.0	75.0	25.0	△ 25.0	25.0	50.0	25.0	0.0
3 仕入単価	62.5	37.5	0.0	62.5	37.5	62.5	0.0	37.5	50.0	50.0	0.0	50.0
4 従業員数					0.0	75.0	25.0	△ 25.0	12.5	87.5	0.0	12.5
5 資金繰り					0.0	75.0	25.0	△ 25.0	12.5	62.5	25.0	△ 12.5

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		0.0	71.4	28.6		△ 28.6		42.9	42.9		14.3	28.6		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	37.5	12.5	0.0	50.0	8 設備店舗の狭小・老朽化	0.0	0.0	0.0	0.0
2 大企業進出による競争激化	0.0	12.5	12.5	25.0	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製品・商品単価の下落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事業資金の確保難	0.0	12.5	12.5	25.0
4 原材料高及び不足	25.0	12.5	12.5	50.0	11 需要の停滞	12.5	12.5	0.0	25.0
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	12.5	12.5	25.0	50.0	13 その他	0.0	0.0	0.0	0.0
7 人件費の増加	0.0	12.5	0.0	12.5	無回答	12.5	12.5	37.5	—

注) 「全体」 = (1位 + 2位 + 3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック、今後の課題・方針など（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 物価高、質上げ、働き方改革、人手不足、高齢化などすべて影響が出ている。今後は労働力不足が一番の問題。人口減少の中、人材確保が大きな課題。（一般土木建築工事業）
- ・ 従業員の高齢化による人手不足に懸念。4週8休に取り組んでいるが労務単価が上がっていない。（土木工事業）
- ・ 材料高のため住宅工事減少。建築費の上昇で下請けの賃金の圧縮。人件費の適正化が必要。（木造建築工事業）
- ・ 電気通信業界は県内では不況傾向。今後、多角的に事業を展開していくうえで、資格の取得や従業員の積極的な雇用を検討。（電気通信工事業）

《卸 ・ 小 売 業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況 (前年同期と前期との比較)								II 来期の見通し			
	前年同期 (令和5年7~9月) と比べた 今期 (令和6年7~9月) の状況				前期 (令和6年4~6月) と比べた 今期 (令和6年7~9月) の状況				今期 (令和6年7~9月) と比べた 来期 (令和6年10~12月) の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	25.0	18.8	56.3	△ 31.3	37.5	31.3	31.3	6.3	25.0	56.3	18.8	6.3
2 採 算	12.5	50.0	37.5	△ 25.0	6.3	68.8	25.0	△ 18.8	18.8	68.8	12.5	6.3
3 仕 入 単 価	50.0	31.3	18.8	31.3	37.5	50.0	12.5	25.0	43.8	56.3	0.0	43.8
4 従 業 員 数	/	/	/	/	0.0	93.8	6.3	△ 6.3	0.0	100.0	0.0	0.0
5 資 金 繰 り	/	/	/	/	0.0	87.5	12.5	△ 12.5	12.5	62.5	25.0	△ 12.5

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D・I (業況判断指数) とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		0.0	56.3	43.8		-43.8		12.5	68.8		18.8	-6.3		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	38.9	5.6	11.1	55.6	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	11.1	0.0	0.0	11.1
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	5.6	0.0	5.6	11.1	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事 業 資 金 の 確 保 難	0.0	16.7	0.0	16.7
4 原 材 料 高 及 び 不 足	11.1	33.3	5.6	50.0	11 需 要 の 停 滞	11.1	16.7	27.8	55.6
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	0.0	11.1	11.1	22.2	13 そ の 他	0.0	0.0	0.0	0.0
7 人 件 費 の 増 加	11.1	0.0	11.1	22.2	無 回 答	11.1	16.7	27.8	—

注) 「全体」 = (1位 + 2位 + 3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック、今後の課題・方針など (調査対象事業所からの意見等)

- ・ 業界的に、物価上昇の影響で客単価が下がっている。当店も客単価が落ちているので年末に向けて冬物の充実に取り組む。(その他の織物・衣服・身の回り品小売業)
- ・ 客数が減少しているため、サービスの高品質化、商品レベルの向上、クレンジングなどに取り組み向上を目指す。(パン・菓子製造業)
- ・ 物価高により売上単価が低く、複数回値上がりしている商品もあるため、さらなる買い控えが起きないか心配。(コンビニエンスストア、電気機械器具小売業)
- ・ 賃上げにより人件費が増加。販売価格に転嫁できていない。(ガソリンスタンド)

《サービス業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（令和5年7～9月）と比べた 今期（令和6年7～9月）の状況				前期（令和6年4～6月）と比べた 今期（令和6年7～9月）の状況				今期（令和6年7～9月）と比べた 来期（令和6年10～12月）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	30.8	61.5	7.7	23.1	46.2	38.5	15.4	30.8	46.2	46.2	7.7	38.5
2 採算	15.4	76.9	7.7	7.7	7.7	84.6	7.7	0.0	0.0	92.3	7.7	△ 7.7
3 仕入単価	53.8	46.2	0.0	53.8	38.5	61.5	0.0	38.5	46.2	53.8	0.0	46.2
4 従業員数					0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	92.3	7.7	△ 7.7
5 資金繰り					7.7	92.3	0.0	7.7	7.7	92.3	0.0	7.7

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		23.1	69.2	7.7		15.4		38.5	38.5		23.1	15.4		7.7

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	7.7	23.1	0.0	30.8	8 設備店舗の狭小・老朽化	0.0	0.0	15.4	15.4
2 大企業進出による競争激化	7.7	7.7	7.7	23.1	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	7.7	7.7
3 製品・商品単価の下落	7.7	0.0	0.0	7.7	10 事業資金の確保難	0.0	0.0	0.0	0.0
4 原材料高及び不足	7.7	15.4	0.0	23.1	11 需要の停滞	15.4	15.4	0.0	30.8
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	15.4	15.4
6 人手不足	7.7	7.7	0.0	15.4	13 その他	7.7	0.0	0.0	7.7
7 人件費の増加	23.1	0.0	0.0	23.1	無回答	15.4	30.8	53.8	—

注) 「全体」 = (1位 + 2位 + 3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック、今後の課題・方針など（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 同業者の乱立（進出）による競争激化。（他に分類されない物品賃貸業）
- ・ 需要は増加するが、人手不足によりこなせなくなっている。（自動車整備業）
- ・ 他店との情報交換においても、ネット・大型店進出による売上減少が話題となる。特徴ある品揃え、サービスを模索中。（ペット・ペット用品小売業）
- ・ 物価は上がっても質は落とさない。お客様のサービスの質は落とさない。電気代などは節約している。（美容業）

《 飲 食 業 》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（令和5年7～9月）と比べた 今期（令和6年7～9月）の状況				前期（令和6年4～6月）と比べた 今期（令和6年7～9月）の状況				今期（令和6年7～9月）と比べた 来期（令和6年10～12月）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	33.3	41.7	25.0	8.3	8.3	41.7	50.0	△ 41.7	33.3	41.7	25.0	8.3
2 採 算	0.0	66.7	33.3	△ 33.3	0.0	66.7	33.3	△ 33.3	16.7	66.7	16.7	0.0
3 仕 入 単 価	91.7	0.0	8.3	83.3	66.7	33.3	0.0	66.7	58.3	41.7	0.0	58.3
4 従 業 員 数	/	/	/	/	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	90.0	10.0	△ 10.0
5 資 金 繰 り	/	/	/	/	11.1	55.6	33.3	△ 22.2	33.3	55.6	11.1	22.2

注) ↑ 増加・上昇・過剰・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・不足・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		8.3	41.7	50.0		-41.7		16.7	50.0		33.3	-16.7		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	33.3	8.3	0.0	41.7	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	0.0	8.3	25.0	33.3
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	0.0	0.0	0.0	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事 業 資 金 の 確 保 難	0.0	8.3	0.0	8.3
4 原 材 料 高 及 び 不 足	41.7	33.3	25.0	100.0	11 需 要 の 停 滞	16.7	16.7	25.0	58.3
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	8.3	8.3	8.3	25.0	13 そ の 他	0.0	0.0	8.3	8.3
7 人 件 費 の 増 加	0.0	16.7	0.0	16.7	無 回 答	0.0	0.0	8.3	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック、今後の課題・方針など（調査対象事業所からの意見等）

- ・ エネルギー高、物価高、コロナで宴会がなくなった。法事もなくなった。年配者の外出も減った。昼は好調だが、夜は今までで一番悪い状況。（一般飲食店）
- ・ 全体的に料金の見直しが必要と感じている。今後、人件費がもっと上がっていくので怖い。値上げをするしか解決策がない。（一般飲食店）
- ・ 野菜が高値のうえに品質が悪くなったため、原価が上昇したうえにお客様から野菜の味が不評。（喫茶店）
- ・ 年金減少、社会状況の不安、コロナ以外の感染リスクの増加などにより、年齢層の高いお客様が減った。（酒場、ピヤホール）